

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	清須市保健福祉計画策定委員会（高齢者部会）
開催日時	平成23年8月4日（木） 午後1時30分～午後3時20分
開催場所	清須市役所 本庁舎 3階 大会議室
議題	1 開会 2 あいさつ 3 委嘱状伝達 4 議事 第5期計画の策定に向けて 清須市の高齢者の現状について 市民ワークショップの開催について 計画策定のスケジュール 5 その他 6 閉会
会議資料	清須市保健福祉計画策定委員会設置要綱 清須市保健福祉計画策定委員会委員名簿【高齢者部会】 第5期計画の策定に向けて 清須市の高齢者の現状 清須市の基盤整備状況 市民ワークショップの開催について 清須市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定スケジュール
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	1名
出席委員	丹羽委員、小川委員、石田委員、太田委員、村瀬委員、 山内（修）委員、山内（文）委員、隅田委員、恒川委員、 岡崎委員、筒井委員、山口委員
欠席委員	
出席者（市）	加藤市長、大鐘健康福祉部長
事務局	福田高齢福祉課長、山田副主幹、伊藤係長、 寺社下係長、平野係長、佐古主任主査、 吉田主任主査、諸岡保健師、アシスト（株）宮澤、梶川

会議の経過

1 開会

事務局	定刻になりましたので、只今から、清須市保健福祉計画策定委員会の第1回高齢者部会を開会させていただきます。私は、本日司会を務めさせていただきます高齢福祉課長の福田でございます。よろしくお願い致します。本市では「附属機関等の会議の公開に関する要綱」を定めており、本委員会の会議及び会議録は公開となりますので、よろしくお願い致します。なお、本日、傍聴の方が1名みえます。
-----	--

2 あいさつ（市長）

（省略）

3 委嘱状伝達

事務局	委員の委嘱状につきましては、さる6月30日に開催されました障害者部会にご出席いただきました方には、すでにお渡ししてあります。本日高齢者部会が初めての方に、市長から委嘱状をお渡しするところではありますが、時間の都合もありまして失礼と存知ますが、机上に配布をさせていただきます。よろしくお願い致します。
-----	---

4 議題

① 第5期計画の策定について

事務局	<事務局より資料を参照し説明>
委員長	ありがとうございました。ただいまの第5期計画の策定について、ご質問がありましたらお願いします。
小川委員	第4期の事業については順調に進捗していますでしょうか、第4期の計画に、それぞれ課題もあったかと思いますが、その課題に対応して、新しい事業も進めてこられたと思います。先ほどの説明では国の方針ということですが、清須市の方針はこれから作っていくことになるでしょうけれども、実際に第4期はまだ終わってないので、現状の課題から、来年にどうしても持ち越さなければいけないというものがありました

	ら、ご説明いただきたいと思います。
事務局	保険給付見込み等に関しましては、ほぼ計画どおりの推移をたどっております。予防事業を積極的に進めておりますが、効果の検証については時間がかかることでもあり、数値として結果が出ない状況ですので、そのあたりを今後も進めていく必要があると考えております。
小川 委員	「高齢者の見守り」については、私どもも含めて地域で関わっていく事業になっていくだろうと思いますが、順調に進んでいますか。
事務局	高齢者見守り事業については、地域支援事業として平成 21 年度から始めております。事業の進め方としてはモデル地区を決めて、その地区の方に活動していただくように依頼をしています。まだ、取り組みだしたばかりの事業ですので、いろいろな課題も出てきています。これは今後高齢化社会において必須の事業となりますので、社会福祉協議会が始められましたブロック社協ですとか、災害時要援護者台帳の登録とか、支援プランも含めて、連携をとりながら進めていかなければいけないと考えております。
丹羽 委員長	その他ありますか。 8 ページのアンケート調査の実施の回収率ですが、特に事業所の調査は 54% と低いように思いますが、協力的でなかったのですか。
事務局	事業者については、全体的には回収率が低いのかなと考えています。
丹羽 委員長	アンケートの実施の結果としてまとまるものでしょうか。 内容の信憑性に関してはどうなのでしょう。
事務局	アンケートとして統計的には検討する必要があると思いますが、アンケートに寄せられた要望などは計画に取り入れていけるとお思いますので、そういった形で利用させていただきたいと思います。
丹羽 委員長	その他どうですか。
岡崎 委員	第 4 期の計画では、保険料を決めるときに、基金を取り崩して低く抑えますという話でした。第 5 期に問題を先送りしているという状態に感じますが。今の保険料について、財政的にはどういう評価をしていますか。
事務局	第 4 期計画では、基金 8 千 700 万円を取り崩して保険料にあてて利用し、保険料を少しでも安く抑えようということで計画策定をしております。現在、第 4 期計画の際に見込みましたとおり、順当に切り崩しています。第 5 期計画では第 4 期で残った金額を次の計画の中で取り崩すこととなりますが現在の状況では、保険料が上がるのではと考えております。
岡崎	介護保険の財政状況は、いつか破たんするのではないのでしょうか。市と

委員	して無理をして将来としてはこうだけど、ここはちょっと皆さんも腹を決めて頑張ろうよというようなメッセージがないと、もたないと思います。
事務局	今回は第5期の計画の中で事業内容等を決めていきたいと考えています。
小川委員	計画の関心は、介護保険料がどこまでいくのかというところだと思います。介護予防事業などを含めて、長期にわたる計画を立てたうえで、保険料を決めないことにはと思っているわけです。超高齢化率については2025年という一つのピークが来ますので、そのことを見通しての第5期計画じゃないかと思います、これは大事なことだし、委員としても責任を感じます。 この委員会で審議を重ねて、今までの蓄えを取り崩すという考えではなくて、また、介護保険を使わずに高齢福祉をどうするのかということを検討していくことが必要だと思っております。
事務局	第5期計画の骨子として、介護予防事業を強化し、介護給付を使わない方向でいけるようにしていくこと、つまり、元気な高齢者が増えることが一番幸せなことですので、そういった形で計画が立てられればと思っております。
丹羽委員長	ありがとうございます。その他よろしいですか。次の議題に入ります。

② 清須市の高齢者の現状について

事務局	<事務局より資料を参照し説明>
丹羽委員長	ご説明ありがとうございました。 清須市の基盤整備状況の資料中介護関連のところは特別養護老人ホームが書いてないのですが。
事務局	特養は資料の老人福祉施設ということで、下の方に2か所入っております。
丹羽委員長	高齢者の現状についての説明でお聞きしたいのですが、6ページに事業実績がありますね。高齢者世帯の中の、単身者世帯の「準ずる世帯」というのはどういう世帯ですか。
事務局	準ずる世帯というのは、例えば60代前半の方で体調が悪いという状況のことです。
丹羽委員長	ありがとうございます。委員の方、ご質問ありましたらお願いします。

恒川 委員	清須市の高齢者の現状ということで、事業の説明がありましたが、孤立死の方が7名あったということですが、高齢者の福祉事業では、4番の配食サービス事業や緊急通報システム事業というのが、住民者全員にカバーされているということではないのですね。
事務局	はい、そういうことです。
恒川 委員	それから、事務局の説明された、介護予防に関することで、清須市はいろいろなことやってみえて非常に素晴らしいことと思いますが、ただもう少し、住民が参加されると報償的なものをつけるとか参加しやすいと思います。せっかくこんな立派な事業をやってみえる割には、参加者の数が非常に少ないと感じたのですが。
事務局	ありがとうございます。現在もそういったことをふまえて、市民健康講座や運動の教室に参加された方には、修了証というのをお渡ししております。修了証を張る台紙「梅カード」をお渡しして、梅カードには修了証が6枚貼れるのですが、梅が終わったら竹、竹が終わったら松ということで、全部で18枚たまった場合には、なにか心のこもったものをお渡ししたいと考えています。また、住民の皆さまにお話しして、より参加していただけるような方法をとっています。ただ、まだ広報の仕方が十分でないので参加者が少ないのが現状ですので、それを課題として、もっと皆さんに周知していきたいと思っています。
丹羽 委員長	ありがとうございます。その他ございませんか。
石田 委員	17・18ページは単位が「円」ですよね。 それから、介護給付の総額が25億で、予防が1億ということでよろしいでしょうか。そうしますと、先ほどの整備状況のところ、25億に対して28億というのは見込みが違ってくるのでは。それから、予防は1億に対して3,800万なので、他にあるとは思いますが。 それから、4ページからの決算額が億単位で結構ですので、もしわかれば、介護給付とのバランスと、高齢者福祉のバランスを考えてみたいと思いますので、データーを教えてください。 それから、22年度の基金残高と、昨年度の基金の積立額を教えてください。
事務局	整備状況の28億円については、給付費とは別の高額サービスや認定審査に係る費用なども含めた介護保険全体の金額で計算しています。 基金の残高はいま、1億2千万程です。また、23年度中にも取り崩すことになると思っています。
小川	清須市の基盤整備状況で「高齢単身世帯数」というのが418で、住民票

委員	<p>上では2,444とありました。今後、災害発生時など地域活動を行なう際などに、正確な情報がないと混乱することにもなるので、精査していただきたい。</p> <p>それからもう一つは、年齢64歳か65歳になると寿会などに勧誘したいが、誰が64歳か65歳かわからないです。だから、65歳以上の人口に対して3分の1くらいの会員しかいないという状況で、なんとかしなければいけないということで悩んでいます。</p>
事務局	<p>ここに書いてある418という件数ですが、高齢福祉課の「ひとり暮らしの登録票」というのがありまして、登録している方の数をひろっています。</p> <p>今回、民生委員さんに協力をお願いして、新たに一人暮らしの登録票を再度チェックさせていただいております。2,444名の方が本当にひとり暮らしかどうかということも併せて調査しております。概ね10月くらいには数字が固まってくると思いますが、それでかなり正確な数字が把握できると考えています。</p>
小川委員	<p>その数字が出たところで、社協なんかにこういう人がおみえになるということは教えてもらえますか。</p>
事務局	<p>個人情報の取り扱いの中で、地域包括支援センターと高齢福祉課で個人情報のやりとりは可能であると考えています。先ほどの寿会については、必要に応じて市民課で閲覧は可能と聞いています。</p>
丹羽委員長	<p>ありがとうございます。寿会について太田さんどうでしょうか。</p>
太田委員	<p>清須市で2,000人の中の1割の方が参加されるだけで、あとの9割の方は何も参加されない方が多いですね。老人クラブを長年やっていると、実際には、ごく一部の者が活動をしているだけで全体としての活動はなかなか定着しませんね。</p>
丹羽委員長	<p>せっかくですので、一人でも多くの方の参加を願いたいですね。その他ありませんか。次の議題にうつります。</p>

③ 市民ワークショップの開催について

事務局	<p><事務局より資料を参照し説明></p>
丹羽委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明に関してご質問ありませんか。</p>
岡崎委員	<p>せっかく市長さんがいらっしゃるので聞きたいのですが。いまの高齢福祉事業や地域支援事業に関しても尽力されていてすごい</p>

	<p>などと思います。私は歯医者として、今までには気づかなかったことに改めて気づき、次々問題が起こってそれに対処していますが、決して高齢者に対して手厚くなるということではなくて、本当にしなければいけないことが増えてきていると思います。</p> <p>また、これから高齢者の時代になりますが、若年者がいなければ全体を支えられないし、そういう人達が増えていかないといけないと思います。高齢者対策について、清須市の中での重要度を、どういうふうに考えていますか。</p>
市長	<p>介護保険はみんなで支える制度ということで、介護にならないようにということで 10 程度の事業をしています。本当に限られた人が利用しているだけです。</p> <p>高齢化に伴って介護給付は増えていきますが、いま制度が維持しているということは、まだ 65 歳以上の人でも、元気な人が介護保険を払いながら使わずにみえるということですので、介護保険制度が成り立っているわけです。</p> <p>しかしながら、介護予防に力をいれないと、今のシステムではおそらく成り立たないだろうと考えています。介護保険制度を円滑な制度にしていくためには、市民みんなで、それぞれが協力しあう体制が必要です。例えば、事業に参加されない方を、いかに孤立させないで参加していただけるように、地域とともに行政が行っていかないといけないということだと思います。</p>
丹羽 委員長	<p>ありがとうございました。その他ございませんか。次に進ませていただきます。</p>

④ 計画策定のスケジュール

事務局	<事務局より資料を参照し説明>
丹羽 委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまのは質問はないと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、本日オブザーバーとして参加していただいている谷川様に総括をしていただきたいと思います。お願いします。</p>

5 その他

谷川オ ブザー バー	<p>保健所ですが、難病疾患の人が多くいらっしゃいます。</p> <p>介護保険の制度についてご存知だと思って面接をしていましたが、活用の仕方を知らなかったという方がいました。先ほど情報発信についてあ</p>
------------------	--

りましたが、引き続き情報発信していただき、使わない方がいいですが、必要なときには適切な選択ができるように、継続していただけたらと思います。

また、介護予防はやはり重要であると思いますので、引き続き取り組んでいただけて充実していただきたいと思います。

それから、介護者の教室について、参加人数が少ないですが、数字で評価ということだけでなくこういう教室の存在は大変大切だと思いますので、ぜひ周知とともに継続していただければと思います。

6 閉会

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためここに署名する

署名委員

署名 恒川武久

署名 岡崎伸一

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 高齢福祉課 052-400-2911 内線4334